

○參照第六

(明治二十七年六月二十九日官報掲載)

本日本會委員會相開キ去六月二十日ノ強震ニ關スル事項討議致候處目下調査ノ材料蒐集中ニテ未タ充分ナル研究ヲ遂クルヲ能ハス候ヘトモ別記ノ事項ハ目下ノ急要ニシテ一日モ猶豫スヘカラサルモノト認メ候間此段及報告候也

明治二十七年六月廿八日

震災豫防調査會長理學博士菊池大麓

文部大臣井上毅殿

(別記) 烟突修繕方ニ付注意

第一 烟突ノ鑿裂ハ極メテ細微ノモノト雖モ管ニ震災ニ際シ危険ナルノミナラス又火災ノ原因トモナルヘキモノ故修繕前詳細ノ検査ヲ遂ケ之ヲ發見スル時ハ適當ノ修繕ヲナスヘキ

第二 烟突ノ上部ハ鐵筒土管ノ類ヲ用キ成ルヘク重量ヲ減少スル

第三 烟突ノ高サハ成ルヘク短縮スル

第四 煉化石ヲ用キル場合ニハ必ス適當ナル調合ノセメントモルタルヲ以テ積ムヘキ

○參照第七

(明治二十七年十月五日官報掲載)

煉瓦烟突危害豫防等ノ件ニ關シ去七月廿八日土甲第四二號ヲ以テ内務大臣ヨリ照會ニ由リ御諮問相成候ニ付本會ノ議決ヲ經テ別紙答申書進達候也

明治二十七年九月廿七日

震災豫防調査會長理學博士菊池大麓

文部大臣井上毅殿

煉瓦烟突危害豫防等ノ件答申書

製造所烟突及其他獨立烟突ノ構造ハ耐震建築ノ一大問題タルヲ以テ本會ハ特ニ之カ調査ヲ勉メ其震災ノ模様ヲ精細ニ取調ヘ地盤ノ性質ニ緣由スル震動ノ多少ヲ觀測シ建築材料ノ強弱ヲ檢定シモルタルノ調合法ヲ考究シ或ハ人爲震動ニ由リ耐震構造ノ試験ヲ爲ス等今ヤ切リニ研究ニ從事スル所ナレハ地震ニ耐フヘキ構造ハ果シテ如何ナルヘキヤ未タ本會ノ定見ヲ開陳スルノ秋ニ至ラスト雖モ既ニ調査シタル結果ニ照シ被害ノ烟突ニ鑑ミ推考スルニ今日ノ場合ニテハ左ノ如キ意見アリトスルヲ得ヘシ

一煉瓦造烟突 濃尾震災及本年六月東京地方ニ於ケル震災ノ